

## 真心通わせ手芸交流

した洋服やバッグ、帽子、ポーチ、結いっこぞうり」など多様な商品を生み出し、販売している。「被災者の手作り品」では終わらせず、独創的で高品質な「逸品」を目標です。

斎藤さんやパドメコンのメンバーからは商開きの助言を受け、定期的な交流会や野菜めいイベントも開催。京都市で毎年秋に開かれる「東北の手わざ展」にも商品を出展している。

斎藤さんは「震災直後から今まで優れたものづくりを続ける田老の皆さんを尊敬している。今後縁をつないでいきたい」と話す。

大権代表(右)は「京都の方々の明るい励ましと支援が今の活動につながっている。コロナ禍が落ち着いたら、また笑顔で再会したい」と約束する。

## 故郷の支え力に再起

かく迎えた。「被災者を知って、町営アパートの家賃を免除してくれた。おかげで生活を立て直すことができ、本当に助かった」と感謝の言葉を、南海トラフ地震で津波の危険がある愛媛県。北宇和高同級生の依頼で13年春には、震災被災者として津波防災について講演した。

「お金を上着、荷物を取りに戻った人がみんな亡くなった。油断せず高い所に逃げて」。故郷への恩返し、の思いも込めて懸命に伝えた言葉は今も変わらぬ。

盛岡市に長男が家を建て18年に右半身に戻った。現在は同市の県警独身寮で炊事員として腕を振るう。

宮古市での天ぷら店再開には「年も年だから」と言葉を濁すが「やりたい気持ちは昔に変わらぬ」と故郷への思いは厚い。

## 踊り曲共作 普及期す

さん。津波で踊り仲間を失い、転居して離れ離れになった人もいた。共同制作は突然の打診だったが、名古屋の人たちのおかげで形として将来に残せる。感謝しかない」と真心をかみしめる。

名古屋市は2011〜20年度に延べ250人の職員を陸前高田市に派遣し、子どもたちの交流も支えてきた。両市は14年に友好都市協定を締結した。20年度は文化、産業などの4分野で市民レベルの親交をさらに深めている。

踊り曲は今後、名古屋市内のイベントでお披露目され、陸前高田市で今夏開かれる「チャオチャオ陸前高田道中おどり」でも披露の予定だ。及川さんは「多くの人に踊ってもらえるよう、大切にしていきたい」と誓う。

## 東日本大震災 10年を迎えた古里へ 首都圏、西日本の県人会 各団体メッセージ

明日が来ることを当たり前ではないと知った日。

あれから10年。離れていても変わらぬ思いがあります。

これまでもこれからも、

古里若手とともに、あなたとともに。

首都圏や関西エリア、東海、鹿児島、鹿島の県人会や

県出身者を中心としたふるさと組織など

24団体からお寄せ頂いた

メッセージをお届けします。

### 岩手県人連合会

会員30,000名

決して忘れません。

あの日から10年。

思いは、ふるさとの

皆さんとともにあります。

会長 鈴木 文彦

### ふるさと矢巾会

会員210名

長引く新型コロナ禍のためになかなか帰省できませんが、

思いは常につながっています。

会長 山崎 重人

### ふる里山田同郷の会

会員350名

耐えて10年希望もって10年ご苦労様です。

私達は常に思いをふる里に向けております。

これから手取り合って前に進んでいきましょう。

会長 小川 徹弘

### 東京宮古同郷会

会員1,300名

あの日のことは

決して忘れません

会長 白土 正治

### 北上ふるさと会

会員500名

あれから10年、黙々と耐えた

岩手の人々は誇りでした。

私たちの心はふるさとの

皆さんと共にあります。

一歩として一歩。

会長 渡邊 嘉二郎

### 千厩町ふる里会

会員400名

「咲かせよう桜」陸前高田市に植えて育てて10年

逝ってしまった人達へ 未来の子供達の為に祈り続けます。

会長 山口 紀代子

### 在京花巻ふるさと会

会員2,100名

10年とは、

それは悲しみと痛みの

一日一日の積み重ね。

今後も寄り添い、

亡くなられた方々を追悼します。

会長 瀬川 紘一

### 八幡平ふるさと会

会員795名

遠く離れていても、私達のふるさは岩手です。

だからこそ、これからも皆様の福・幸をお祈り致します。

会長 伊藤 彰